

小松・大聖寺教区合同  
差別問題研修会

# いのちは 誰の もので すか？

4/14 **金**  
2023

生きていてももう人の役に立たない  
というのが、「安楽死」を希望される  
方の主張です。生きること、人生の  
価値のこと、老いていくことについ  
て、共に考えたいと思います。

とき

13:30-16:00

受付 13:00~

ところ

大聖寺教務所

【常葉会館】 石川県加賀市  
大菅波町フ8-1

聴講無料 事前申込は不要です

講師

ジェシーこと

しゃくにほうかい

釋尼萌海さん

◆プロフィール

1979年スイス生まれ。大阪真宗学院卒、真宗大谷派教師。  
キリスト教の環境下で育ったが、教えに納得できず自分の  
道を模索中、仏教に出会う。母が安楽死を選んだことから  
「命は誰のものか」と深く考えるようになる。  
尺八琴古流・都山流師範。演奏活動をしている。



主催 小松教区解放運動推進専門部会・大聖寺教区解放運動推進部門

## 日 程

13:00 受付

13:30 開会・挨拶

ハンセン病問題交流研修会参加者発表

13:50 講義(休憩)

感想文記入

15:30 座談会(講師を交えて話し合い)

16:00 閉会



### 【ジェシーさんからのメッセージ】

#### ◆いのちは誰のものですか？

それを考えさせてくれたのは、母の認められない安楽死あんらくしの独断でした。自殺じこつ幫助が罪に問われないスイス。私は生を選べない。その私は死を選んでもいいのですか？「生きていたってもう人の役に立ちません」と、安楽死を希望される方の主張です。

生きること、人生の価値のこと、老いていくことについて、何の為に生かされているのかを考えなければなりません。「今いのちがあなたを生きている」のは、「いのち」が私となり現れたことです。だからこそ、いのちの私有化をしてはいけません。死にざまを考えるより、生きざまを考えることです。「生まれた意義と生きる喜びを見つけよう」という親鸞の呼びかけに、私たち一人一人が応答していかなければならない時が来ているといえるのではないのでしょうか？

## ジェシーさんに聞いてみたいこと募集します

→QRコードから  
質問を受付ます  
(締切2023.4.7)



### お問合せ

小松 教務所(担当 寺本) ☎ 0761-22-0555

komatsu@higashihonganji.or.jp

大聖寺 教務所(担当 員辨いなべ) ☎ 0761-72-0373

daishouji@higashihonganji.or.jp